

景況レポート 8月

8月の県内景況は、2ヶ月連続で前月に比べ悪化。長雨などの天候不順が各業界に大きく影響した結果となった。

情報連絡員による平成29年8月の県内中小企業の景況は、業界全体として「好況」は10.5%（前月比-3.3）となっており、「横這い」は36.8%（同-3.0）、「低調」とするところが52.7%（同+6.1）、業界全体の「景況感DI」は-42.1%（同-9.3）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「雇用人員」の項目のみ、前月と比較して好転しています。

2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、「快晴」または「晴れ」の業界はなく、木材木製品製造業、卸売業、建設業が「曇り」または「薄曇」、その他の業種は「大雨」または「雨」となっています。

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が、21.1%（前月比-0.4）と減少しております（好転の回答0件、やや好転の回答12件）（製造業5、非製造業7）。また、変わらないも、59.6%（前月比-0.8）と減少しております。一方、やや悪化、悪化の見込みは、19.3%（前月比+0.4）と増加しております。

平成29年8月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率95.0%）

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	-57.14	-57.14	0.00	0.00	-57.14	-42.86	-42.86	-42.86	0.00	-14.29	-57.14	-71.43
繊維製品製造	-33.33	0.00	-33.33	0.00	0.00	-33.33	-33.33	-33.33	0.00	0.00	-33.33	-33.33
木材木製品製造	-50.00	-50.00	0.00	-25.00	-25.00	-25.00	-25.00	-25.00	0.00	25.00	-25.00	-25.00
鉄工機械製造	-33.33	33.33	0.00	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	-33.33	0.00	-33.33	0.00	-33.33
その他の製造	-42.86	-42.86	0.00	-14.29	-14.29	-14.29	-28.57	-14.29	-14.29	14.29	-42.86	-42.86
卸売業	0.00	33.33	-33.33	0.00	0.00	0.00	-33.33	-33.33	0.00	-33.33	-33.33	0.00
小売業	11.11	-44.44	11.11	0.00	-33.33	-44.44	-22.22	-22.22	-11.11	-11.11	-33.33	-44.44
商店街	16.67	-66.67	-16.67	0.00	-16.67	-50.00	-16.67	-33.33	0.00	0.00	0.00	-50.00
サービス業	-14.29	-42.86	14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	-14.29	0.00	-14.29	-57.14	
建設業	-40.00	-20.00	0.00	-20.00	0.00	-20.00	0.00	-20.00	0.00	-20.00	0.00	-20.00
運輸業	-66.67	-100.00	0.00	0.00	-66.67	-66.67	-33.33	-66.67	-33.33	-33.33	-66.67	-33.33

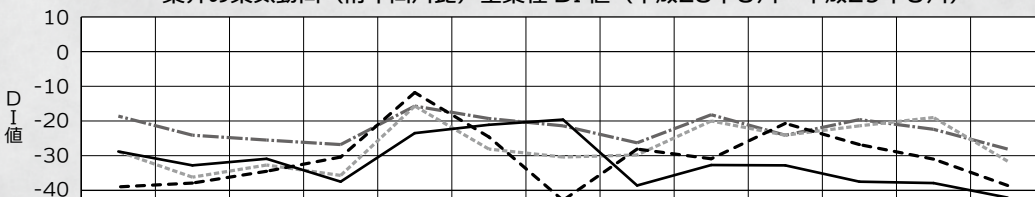
天気図の見方

各景況項目について「増加」（または「好転」）業種割合から「減少」（または「悪化」）業種割合を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は下表のとおりである。

D・I値基準値

- 快晴 30以上
- はれ 10~30未満
- うすぐもり -10~10未満
- くもり -30~-10未満
- 雨 -50~-30未満
- 大雨 -50未満

業界の景気動向（前年同月比）全業種 DI 値（平成28年8月~平成29年8月）



— 業界の景況
- - - 売上高
..... 収益状況
- - - 資金繰り

	平成28年8月	平成28年9月	平成28年10月	平成28年11月	平成28年12月	平成29年1月	平成29年2月	平成29年3月	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月
業界の景況	-28.8	-32.8	-30.9	-37.5	-23.5	-21.1	-19.6	-38.6	-32.7	-32.8	-37.5	-37.9	-42.1
売上高	-39.0	-37.9	-34.5	-30.4	-11.8	-24.6	-42.9	-28.1	-30.9	-20.7	-26.8	-31.0	-38.6
収益状況	-28.8	-36.2	-32.7	-35.7	-15.7	-28.1	-30.4	-29.8	-20.0	-24.1	-21.4	-19.0	-31.6
資金繰り	-18.6	-24.1	-25.5	-26.8	-15.7	-19.3	-21.4	-26.3	-18.2	-24.1	-19.6	-22.4	-28.1

食料品製造業

<漬物>

原料野菜が高い。中国において排水問題による工場閉鎖等が起こったことから、輸入原料等が将来厳しくなると思われる。

<味噌醤油>

味噌醤油の出荷量は、前月、前年と比較し減少傾向。8月の長雨や低温続きの影響等が出荷量・消費量減少の一因と推測されるが、風評被害は否定できない。その一方で、関連製品のあま酒、だし醤油などが少しずつ増えつつある。

<菓子>

一部原料の値下がりがあったが、製餡用の北海道小豆は品薄が続いていて必要な物が買えない状況になっている。9月は敬老の日やお彼岸などの行事があり繁忙期に入るため売上増加に期待したい。

<乾麺>

長雨が続き減収となった。

<酒造>

前月同様、売上状況は良くない。吟醸酒のみが前年並みで、その他、純米吟醸、純米酒も前年割れとなっている。天候も不順で原料米の生育も心配である。

<食品団地>

今月も天候不順や低温の影響で季節商品の生産管理が難しく、売上が減少した。消費者ニーズが多様化する中で商品を集約して強みにすることが重要となっている。今後も経済環境の変化や原油価格の変動等、収益に影響が出てくる見通しで難しい状況が続いている。

木材・木製品製造業

<製材業>

梅雨時期に雨が少なく、丸太の出材が若干多い。出材が順調なため価格は安定している。住宅着工数は維持されており、柱・間柱・土台の首都圏からの引き合いが続いている。県内の需要もやや上向き傾向である。

<外材輸入>

お盆休みが長く、稼働日が少なかった理由もあるが全体的に荷動きが低調である。一方、9、10月は多少出荷量が増える見込みである。

紙・紙加工品

<紙器・段ボール箱>

激変する紙器業界は予測のつかない時代に入った。現在、紙器業界は原紙の値上げムードにあり、物流経費の増大の中、生産性の向上に日々努力している。また、段ボール生産業界にあつては、通販業界の高成長と相まって過去最高の伸び率を示しているが、我々ボックスメーカーは苦戦状況にある。

印刷

<印刷業>

8月はお盆休みもあり、例年低調である。業界が厳しい中で輸送コスト上昇や今後の紙代の値上がり予想など、コストの増加傾向にある。

窯業・土石製品製造業

<碎石>

(県北地区)

- | | | |
|------------|-------|-------|
| 1. 当月売上数量 | 前月比 | 約15%減 |
| 2. 当月売上数量 | 昨年同月比 | 約10%増 |
| 3. 本年度売上数量 | 昨年対比 | 約20%減 |
| 4. 原因・現状 | | |

8月は、お盆休暇と雨天の日が多く現場への納入日数が少なかった。

<生コン>

平成29年8月の組合員生コン出荷数量は、131,357m³と対前年同月比-0.4%。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比-0.6%、官公需が-3.9%であった。

○民需の動向

対前年同月比 -0.6%

対前年同月比増加地区

県北地区：+7.9% 市内病院新築工事、市内企業建設工事等

県中地区：+16.3% 特老ホーム建設工事、マンション新築工事等

いわき地区：+43.2% ショッピングモール、物流センター建設工事等

対前年同月比減少地区

白河地区：-24.4% マンション建設工事等

相双地区：-35.6% 広野火砕石炭貯蔵設備、第一原発固体廃棄物貯蔵庫建設工事等

会津地区：-5.2% マンション、老人ホーム建設工事等

○官公需の動向

対前年同月比 -3.9%

対前年同月比増加地区

いわき地区：+1.4% 港湾災害復旧、市内共立病院新築工事等

相双地区：+6.7% 富岡、浪江消防署庁舎建設工事、医療センター建設工事等

会津地区：+69.4% 砂防施設工事、河東学園建設、城前団地建設工事等

対前年同月比減少地区

県北地区：-31.9% 福島市体育館新築工事、東北中央自動車道桑折高架橋工事等

県中地区：-40.6% 郡山市西田学園、須賀川市ゴミ処理施設工事等

白河地区：-36.6% 道路橋梁工事等

一般機器

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、集中定修工事も終息し、扱い件数も月々に低下している。売上高では、前月比89%と若干の減となったが、前年同月比に於いては1.7倍と改善された。しかし前年累計比では、いまだ74%と低迷している。

その他の製造業

<漆器>

都心百貨店での漆器の動きは全く見られない。販売には観光客など人の動きが出ることが大いに大事だと思われる。

卸 売 業

<再生資源>

8月は低温長雨の影響で古紙の回収量が減少、輸出古紙価格も暴落し国内相場に影響しはじめた。鉄スクラップは依然堅調に推移している。

<米麦事業>

米穀の販売単価は昨年より上昇、売上高は増えた。

小 売 業

<共同店舗>

(〇ショッピングセンター)

今月は、夏休みの帰省客、お盆用品の需要で前年比、前月比ともに売上が伸びた。次月は、誕生祭のイベントを実施予定。誕生祭と秋彼岸の需要に期待したい。

<石油>

悪天候が影響し、燃料油の販売は不振に終わった。

<水産物>

浜の水揚げが少なくなっていることもあり、入荷が少なく価格が高くなっている。お盆の期間は、外食関係に足を運ぶ消費者が増え、本業界は年々厳しさを増している。

<青果>

価格も高騰とまではいかず推移し、地場産の野菜も出荷されたが、取引量は伸び悩み、桃の取引にも期待したが前年に比べ減少となった。来月には連休やイベント等があるので少しでも取扱が増加する事に期待したい。

<家電>

エアコンの動きが急に止まった。天候不順が影響か。

商 店 街

<福島市>

わらじまつりに吞んでラリーと、イベント続きの月であったが、売上、人通りともに昨年比で減少。イベントの実施により、人通りは増えるが、各店舗にお金が落ちない。特に今年は各店舗において非常に厳しい状況が続いている。お盆の時期も今年は11日からと祝日が早かったためか、前半は人通りが多かったが、14日以降は少ない状況であった。また、工事の影響か、来街者が商店街を歩くルートも変わってきている様子がある。

<郡山市>

昨年は8月に百貨店の大きな催事が三つもまたがっていたため、客足・売上の増加に繋がったが、今年の一つのみであったことから客足・売上ともに低調であった。改めて催事による集客力の大きさを感じた。

<南相馬市>

南相馬市事業再開・帰還促進プレミアム商品券の発行に伴い、関連事業として商店街連合会主催でスタンプリレー抽選会が行われ、各商店の商品券回収が好結果を生んでいる。商店街を普段利用しないお客様が、どの商店でも見受けられたとの報告があった。

<会津若松市>

各商店街ごとに祭礼も含めて夏にちなんだイベントが開かれ、人出はあったようだ。だが、各個店の売り

上げにつながるの難しい。

<いわき市>

今月の天候には「お手上げ」の状況。街に来られる方も少なく、夏物でも秋物でも「買いたい」の気持ち起きない様子があった。昨年も8月は天候に泣かされたが、9月の天候に期待し、秋物商戦を迎えたい。

サービスマ

<旅館業>

(土湯温泉)

天候不順により温泉街への客足はさっぱりであった。ただ、お盆期間の宿泊は前年並みの入込であったようである。また、7月後半から8月上旬にかけてインターハイが開催され高校生の宿泊が多かった。

<美容業>

美容業界の現場は、お盆時期の売上を期待する傾向がまだ残っている。この時期の季候で暑さから髪の伸びが気になることと、俗に言う「お盆のヘアスタイル」は、こざっぱりと綺麗にする習慣があるせいだ。今年は、長雨でサロンに出かけるのも煩わしかったのか出足が鈍く、消費者は天候の回復を待ちすぎたのか消費の底冷え状態で売上減になってしまったよう。美容は、技術の職場と想っていたが最近の消費者は「安心・安全」と「接遇」もサロン選びの一つになっている。

<理容業>

8月に入った途端に連日の雨模様で商売も上がったりであった。7月が順調であったため8月も期待していたがそうはいかなかった。例年に比べ、どの方でも売上は下がったようだ。本業界はどうしても天候に左右される傾向がある。やはり夏は夏らしく暑くならないとすべてに影響する。焦っても仕方ないので、一人一人のお客様にいかに満足感を与えられるか、信頼を深めていくことに努力していきたい。

<一般廃棄物収集運搬>

通常業務については前月同様の売り上げを見込んでいる。産業廃棄物に関しては依然として排出量は震災前の水準には届かず、しばらくは増加することはないと思われる。雇用については組合員各社でも人材の確保については苦慮している。

建 設 業

<建設業>

(県南地区)

公共工事及び民間工事共に減少したまま推移しているため、建設業だけでなく、測量・調査・設計・資材・下請専門工事業の全ての建設関連産業において景況が悪化している。一部の自治体で除染仮置場の補修工事が発注されているが、県工事以外の市町村工事も減少傾向で、急激な売上減少に戸惑っている状況である。

<管工事>

前月比で、給水設備申請が増加し、排水設備申請が減少。前年同月累計対比では、給水・設備申請とも減少している。

<専門工事>

お盆の長期連休があったこともあり、業務的には大きな問題が出てこなかったような気がする。一方で、天候については異常そのもので、気温はさっぱり上が

らず、毎日じめじめとした雨模様が顔を出すようなくずついた状況が続いている。盆明けから気温が上昇するとの予報もあったが、それでもやはり肌寒い。不快指数はそれほど上昇しないが、現場の進捗状況と職人の健康状態を考慮するとあまりよくない状態が続いている。景気の先行きについては、これと言ったキーワードもなく、沈滞感・停滞感が漂っている気配は否めない。各所から飛び出してくる話も「あつたらいいな」を中々超えるものがなく、具体性に乏しいのが現状であると共に、我々の生活からは少し遠い所の話ばかりが聞こえてくるようになったのではないかと感じている。この時期に、社会全体が東京オリンピック一色で盛り上

がらないのは、そろそろ問題なのではないだろうか？

運 輸 業

<トラック団地>

(東北地区)

当組合会員の業況は、安定した荷主先との取引が多いため業況は比較的安定しているが、建築資材等の動きは前年に比べ徐々に減少傾向となっている。

<ハイヤータクシー>

企業の夏休み等により8月は例年減少傾向にあるが、毎年さらに悪化している。